



**弘亜社が、タイ・バンコクの現地会社と組み
バンコク空港鉄道の広告権利を取得
日本の交通広告会社が海外の交通広告の利権を獲得したのは日本初 -**

昭和 13 年設立、70 年以上の歴史を持つ交通広告・屋外広告会社の株式会社 弘亜社（本社：東京都銀座 6-12-1、社長：大村 寿一郎）は、このほどタイ・バンコクの広告代理店 365 社（本社：Sukhumvit55, Klongtonnua, Wattana, Bangkok）（会長：Aran Apichari）と組み、バンコクの空港から市内主要駅をつなぐバンコク空港鉄道（エアポートレールリンク＝ARL）における車両及び各駅の広告管理運営権（契約期間 10 年間）を獲得した。

弘亜社は、タイ・バンコクに自社 49%、現地の 365 社 51%の合弁会社「弘亜社メディア（タイランド）」（代表：大村 寿一郎）を設立し、入札に参加。弘亜社の日本における交通広告・屋外広告の実績が評価され、タイ国鉄よりバンコク空港鉄道（ARL）の交通広告代理店として正式認可（9 月 16 日）された。

「弘亜社メディア（タイランド）」は、タイ初の日系交通広告会社となるとともに、日本の交通広告会社が海外の交通広告の利権を獲得した日本で初めてのケースとなる。

バンコクの空港から市内主要駅をつなぐバンコク空港鉄道（エアポートレールリンク＝ARL）は、バンコク・スワンナプーム国際空港とバンコク市内パヤタイ駅を結ぶ高架式高速鉄道として 2010 年 8 月 23 日に開業。路線距離 28.6 km、8 つの駅からなり、終点のパヤタイ駅でバンコク市内の BTS（スカイトレイン＝高架鉄道）と接続する。

現在のバンコクの鉄道網は、バンコク空港鉄道の他、BTS 2 路線、地下鉄 1 路線。今後、タイ国鉄は首都圏鉄道整備事業に本腰を入れ、マッカサン駅前大型開発計画（マッカサンコンプレックス）や、南はパタヤ、ラヨン国内線空港、北はドンムアン国内線空港までの延伸建設も計画され、2020 年までには 20 路線に拡張される予定となっている。

今回、交通広告の利権を獲得したバンコク空港鉄道は、外国からの旅行者はもとより、拡大する中産所得層が多く利用しており、交通広告のクライアントは彼らのライフスタイルの向上をサポートする各社を主なターゲットとする。

なお初年度（2011 年 9 月～2012 年 8 月）は 5000 万パーツの売上を目指し、10 年後には 3 億パーツまで拡大していく意向である。

日刊工業新聞に掲載されました。【日刊工業新聞掲出記事.pdf】

弘亜社 会社概要

商 号 / 株式会社 弘 亜 社
創 立 / 昭和 13 年 2 月
代 表 者 / 代表取締役社長 大村 寿一郎
資 本 金 / 8,000 万円
取 引 銀 行 / 三菱東京 UFJ 銀行、三菱 UFJ 信託銀行、みずほ銀行
本社所在地 /
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-12-1 第 2 寿ビル
TEL 03-3571-5641 (代) FAX 03-3571-9369
大阪支社、名古屋支社
弘亜社インターナショナル(タイ・バンコク)
合弁会社 弘亜社メディア(タイランド) (タイ・バンコク)

弘亜社 会社沿革

1938 年 現在の東京都中央区銀座 1-9-7 に広告代理業「朝日プラン」を創立
1940 年 社名を「弘亜社」と改称
1949 年 法人組織に改め「株式会社 弘亜社」となる
1952 年 大阪営業所開設 1971 年 大阪支社と改称
1953 年 名古屋営業所開設 1988 年 名古屋支社と改称
1953 年 本社を東京都中央区銀座 7-2-16 に移転
1965 年 本社を東京都中央区銀座 5-9-11 (緑ビル) に移転
1994 年 本社を東京都中央区銀座 6-12-1 (第 2 寿ビル) に移転、現在に至る
2010 年 6 月 タイ・バンコクで弘亜社インターナショナルを開業
2011 年 9 月 タイ・バンコクで合弁会社弘亜社メディア(タイランド)を設立

以上についてのお問合せ先

株式会社 弘 亜 社

担当：海外本部 糸魚川 mitoigawa@koasha.co.jp

電話：03-3571-5641 (代) FAX 03-3571-9369

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-12-1 第 2 寿ビル